



# のーせーにゅ〜す

平成25年10月25日発行(第13号)

担当: 後継者育成プロジェクト

TEL : 049-224-5939

mail : nosei@city.kawagoe.saitama.jp

## 農業ふれあいセンターまつり2013

平成25年11月16日(土) 10:00~15:00に、農業ふれあいセンター(伊佐沼87)で、「農業ふれあいセンターまつり2013」を開催します。

このまつりは、伊佐沼周辺の恵まれた自然の中で、各種の催しを通して農業生産者と都市生活者との交流の機会を提供し、農業・農村への親しみや理解を深めることを目的として毎年開催しています。今年も、川越野菜を使ったけんちん汁の無料配布、大根葉を使ったおやきの無料配布、里芋・大根・白菜収穫体験、新鮮農産物の販売、野菜・味噌品評会のほか、三富地域農業振興活動や伊佐沼浄化活動の展示、バルーンアートショーなど盛りだくさんの催しを用意し、皆様をお待ちしております。ぜひご来場ください。

### 旬物



さといも

市内で生産されるさといもは、食味が良く市場でも高く評価されています。

出荷時期は初夏から秋で、市内で栽培されている品種は主に「土垂(どだれ)」と「蓮葉(はすば)」です。ねっとり感のある食味と、舌触りの良さが人気の理由です。高級料亭などでも使われ、今、市内で最も注目されている野菜の一つです。

第二の川越いもとして、注目されているさといも。ぜひ栽培に挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

### 農業者紹介



宇津木 清 さん

今回、取材させていただいた宇津木清さんは、今福で露地栽培をしています。

19歳の時に親の後を継ぐ形で農業を始め、今年で35年目。ほうれんそう・みず菜・小松菜・葉大根などの葉物を中心に栽培しています。年間を通して収穫することを目標にしていますが、ほうれんそうだけは夏場にいつも苦戦するそうです。

川越地区地域指導農家連絡会会長も務められており、将来農業を志す後継者の指導も行っています。後継者には、農業は天候との戦いだと教え、作業日誌を毎日つけるように指導しているそうです。そうすることで、過去の出来事や天候などをすぐに見返すことができ、同じ失敗をしないようになるとのことでした。

いつか農家仲間とグループを作って、川越野菜を全国的なブランド野菜にすることが夢と語ってくれました。

### 編集 後記



平成25年11月7日(木)、農業ふれあいセンターで「農業者講演会&交流会 ~農業について語りませんか~」を開催します。今回は、福原地区の農家の飯野芳彦さんをお招きし、『野菜栽培に適した土づくり』について講演していただきます。また、講演後は、農業者同士で自由に語らう交流会を開催します。皆様、ふるってご参加ください。